

栃木県では、(一財)地域社会ライフプラン協会の皆様の協力を得て、地方職員共済組合栃木県支部との共催により毎年ライフプランセミナーを実施しています。

平成24年4月、一担当として当課に異動になった時、セミナーは40代を対象にした「入門編」、50代前半向けの「生涯生活設計編」、56歳からの「退職準備編」の3本立てで、派遣していただいた講師の興味深く、時に身につまされる講義とともに、有名俳優が出演する協会企画のDVDも好評でした。

ショッキングなニュースが飛び込んできたのは、セミナーの開催実績を順調に重ねていたこの年度の後半のこと。退職手当の見直しで支給額が約400万円の減額となったのです。

年金は支給開始年齢の段階的引上げで「退職即受給とはならない」ことに加え、3年間の期間限定ながら、財政健全化のため平成22年度から始まった初の給与カットの最中に届いたこの報は、我々担当職員にとって、セミナーのあり方を再考する大きなきっかけとなりました。

「年金も退職手当も厳しくなる中、退職後も充実した生活を送るには貯えが必要」、しかし「宝くじでも当たらないかぎり、お金はすぐには貯まらない」となれば、「若いうちから経済設計を含めた自分のライフプランをしっかりと考えることが大切」との結論に至り、平成27年度に体系を見直して、30代向けのセミナーを新設しました。

現行のセミナーの概要をご紹介します。

【1】ライフプラン入門編 (対象：26～39歳)

目的＝「ライフプランとは何か、なぜ必要か」とともに、若いうちからの経済設計の重要性を理解してもらう。

内容＝経済生活設計、20代後半から考える資産形成、20代後半から始める健康管理

【2】ライフプラン設計編 (対象：40～49歳)

目的＝本格的にライフプランを作成し、退職後を見据えた人生設計を行う。

内容＝40代からの家庭経済設計、健康寿命を意識した実践健康法

【3】ライフプラン見直し編 (対象：50～55歳)

目的＝40代に作ったライフプランを見直し、退職に備える。家族構成やライフスタイルに併せ、「健康管理中心コース」と「経済設計中心コース」のいずれかを選択する。

内容＝①健康管理中心コース…経済生活設計、明日からできる実践健康法、健康づくりのために今できること

②経済設計中心コース…経済生活設計・基本編 & 応用編、健康づくりのために今できること

【4】退職準備編 (対象：56～60歳)

目的＝間近に迫った退職に向け、退職手当や年金制度について理解するとともに、元気で第二の人生を楽しむためのポイントを学ぶ。

内容＝年金制度及び退職手当の説明、退職後のライフプラン、退職後の健康管理

「入門編」については、「この話をもっと早く聞きたかった」との受講者の声を受け、令和2年度から開始年齢を26歳に引き下げました。

そして令和3年度。この原稿依頼を受けてまもなく、地方公務員の定年延長が正式に決定しました。65歳定年を見据えたセミナー内容の見直しに着手しながら、この10年の我々を取り巻く環境の大きな変化を改めて感じています。

自分の寿命も、これから何が起こるかも、わかっている人は一人もいません。かくいう私も、自分が定年延長1期生として退職することになるろうとは夢にも思いませんでした。

一寸先は闇だからこそ、転ばぬ先の杖になるようなライフプランセミナーを企画し、職員が豊かな人生を送るための一助にしてもらえればと考えています。(一財)地域社会ライフプラン協会の皆様からも、時代を先取りしたセミナープランをご提案いただければ幸いです。

この10年 ライフプランセミナー

栃木県経営管理部 職員厚生課長

吉田 恵子

SMART TIMES